

これが、わたしたちの

今年の高校3年生は、コロナとともに幕を開けた高校生活でした。いつか終わるだろうと思っていた制約だらけの生活は結局終わることなく、高校生活だけが幕をおろすこととなります。おしゃべりをしながら弁当を食べる、入学式や卒業式で校歌を歌う、仲間とつくったお芝居をお客さんに観てもらおう。そんなあたりまえの日常は許されず、いつしか制約の中で生活することが日常に。それでも、彼らと彼女らは演劇を選んでくれました。

稽古をしても上演できるかわからない、突然やってくる休校と部活動自粛、ようやく開催された大会は無観客。

それでも、彼らと彼女らは演劇を選んでくれました。そして春になればそれぞれの地で進学、就職していき、もう二度と同じ顔ぶれで演劇をすることはありません。ならば、と思います。

せっかく演劇を選んでくれた3年間ならば、遠く離れた劇場で最後の芝居を上演する、満席のお客さんの前で上演する、そんな「非日常」を体験してもらいたいと思うのです。

そんな公演を目撃するという「非日常」を、体験しにいらっしやいませんか？

これがわたしたちの、卒業式。

脚本・演出 亀尾佳宏

卒業式

走れ!走れ走れメロス

原作 太宰治
脚本・演出 亀尾佳宏

三刀屋高校掛合分校演劇同好会

出演:曾田昇吾、常松博樹、石飛圭祐 / 照明:佐藤隆聖

昨年度、演劇部のない掛合分校の生徒たちが朗読劇で大会に出場しようとして選んだ題材は「走れメロス」。県大会には進めなかったものの、なぜか「若手演出家コンクール2021」最終審査会で上演することに。掛合分校演劇同好会が「劇」小劇場に再びやってきて最後の上演を。

葉桜と魔笛

原作 太宰治
脚本・演出 亀尾佳宏

松江工業高校演劇部version (上演②④⑥) 三刀屋高校演劇部version (上演①③⑤⑦)

出演:野々内詩織、亀瀧琉那、石倉凜 / 照明:潮保歩 出演:堀江ゆずな、勝部瑞穂、曾田昇吾

太宰治が島根県を舞台に描いた短編小説を脚本化し、島根の高校生で演じる。松江工業versionと三刀屋versionを回を分けて上演。三刀屋versionでは勝部瑞穂と掛合分校曾田昇吾が共演。照明OPを松江工業の潮保歩が務める。

酒とお蕎麦と男と女

脚本・演出 亀尾佳宏

劇団一級河川 出演:曾田昇吾、亀尾佳宏、堀江ゆずな

夫婦で営む蕎麦屋にふらりと立ち寄った旅の侍。亭主自慢の手打ち蕎麦は驚くほどまずい。蕎麦を巡る二人のやりとりはどこへ向かっていくのか——。「若手演出家コンクール2021」で上演した作品。元担任の亀尾佳宏と元生徒の曾田昇吾が亭主、侍として最後の共演。

※演目やキャストは変更になる場合もございます。

舞台監督:鐘築隼

照明プラン:黒太剛亮(黒猿) 照明OP:潮保歩(松江工業)、佐藤隆聖(掛合分校)

音楽:小林有希子 道具:稲葉智巳

制作:青木奈緒(島根)、三村里奈(東京/MRco.) 宣伝美術:安田よーこ

Specialthanks:石原ちみ、熱田優雅、折口慎一郎、フシキサクラ、岩本典子

	3/10(金)	3/11(土)	3/12(日)
12:00		③	⑥
15:30	①	④	⑦
19:00	②	⑤	

●「走れ!走れ走れメロス」
○「走れ!走れ走れメロス」
●「葉桜と魔笛(工業ver)」
○「葉桜と魔笛(三刀屋ver)」
●「酒とお蕎麦と男と女」
○「酒とお蕎麦と男と女」

脚本・演出 亀尾佳宏 島根県雲南市在住。県立高校の教諭として生徒たちと高校演劇を創るかたわら、JR木次駅前に立地するチェリヴァホールを拠点に演劇を創ることを楽しめる人口と演劇を観ることを楽しめる人口を増やすべく、目の前にいる人々と創作活動を続けている。雲南市創作市民演劇では脚本、演出を担当。人口4万人弱の街でのべ1万人を超える観客を動員している。高校演劇では松江工業高校、三刀屋高校、三刀屋高校掛合分校を指導し全国大会出場9回。「若手演出家コンクール2014」優秀賞のほか、「劇王中国ブロック決定戦」優勝2回、「劇王XIアジア大会」第3位。「神奈川かもめ演劇祭」第2位など。昨年度開催された「若手演出家コンクール2021」では当時担任をしていたクラスの生徒4人とつくった「走れ!走れ走れメロス」と劇団一級河川「酒とお蕎麦と男と女」を上演し、最優秀賞を受賞した。

劇団一級河川 亀尾が雲南市創作市民演劇や高校の演劇部で知り合った仲間と気が向いたときにフットワーク軽く上演ができるようにと2019年立ち上げた演劇ユニット。2019「なくしたもの」/2020「鬼より怖い両玉手」/2021「孤独を旅する短編演劇集」(「PILOT」「前兆とか」「葉桜と魔笛」)/2022「酒とお蕎麦と男と女」若手演出家コンクール2021最優秀賞



島根県立三刀屋高校掛合分校演劇同好会

全校生徒が80名に満たない島根県で最も小さな県立高校。演劇部がないため2016年に亀尾が赴任した際に同好会を立ち上げる。毎年9月に校内で「演劇やりたい人いる?」とメンバーを募り高校演劇の大会に出場していた。2021年「走れ!走れ走れメロス」を上演。大会では地区大会で終わったものの、その後若手演出家コンクール2021の2次審査、最終審査会で高く評価された。



島根県立松江工業高等学校演劇部

全国大会8度出場、優秀校東京公演3度を誇る中国地方屈指の演劇部。昨夏東京で開催された全国大会に「永井隆物語」で出場。今年度の中国大会では存続が危ぶまれている地元を走るJR木次線を題材とした「ローカル線に乗って」を上演し最優秀賞。今夏、鹿児島で開催される全国大会への出場が決まっている。両作品で好演した2年生勝部瑞穂が、今回「葉桜と魔笛」に出演する。



島根県立松江工業高等学校演劇部

明治40年、松江市立学校修道館として創立。校訓は「修道創意」。100年を超える歴史の中で多くの優秀な工業人を輩出している。今年度、目標としていた中国大会出場は掛合分校、三刀屋高校を前になわななかったが、島根県を舞台とした太宰治原作の短編小説を19年ぶりに顧問として戻った亀尾とともに上演した。



2023
3/10(金) 上演 ①15:30開演 ②19:00開演
3/11(土) ③12:00開演 ④15:30開演 ⑤19:00開演
3/12(日) ⑥12:00開演 ⑦15:30開演

「劇」小劇場 東京都世田谷区北沢2-6-6

[一般]前売 2,500円(当日 3,000円) [高校生以下]前売 1,500円(当日 1,800円)

チケット予約・お問合せ:

TEL.090-2916-1739(三村) mrco@m8.dion.ne.jp

当日運営:三村里奈(MRco.)

チケット



下北沢トリウッドにて同時上映

2023 3/30-31 「走れ!走れ走れメロス」上映
下北沢映画祭、東京ドキュメンタリー映画祭、「地方の時代」映像祭など各映画祭で受賞